

減らそう！みんなの医療費～国民健康保険の厳しい財政状況～

国民健康保険の財政は、平成24年度決算では単年度の収支で約9,900万円の赤字となり、前年度の繰越金と基金の取り崩しで運営していました。平成25年度では、医療費の増加により、さらに厳しい財政運営が続いており、このままだと保険税を上げることが必要で、結果みなさんの負担額が高くなってしまいます。

そこで、みなさんに国保財政や医療費の状況を知ってもらい、医療費を減らす工夫を一緒に考えましょう！

Q. 国民健康保険制度の役割は？

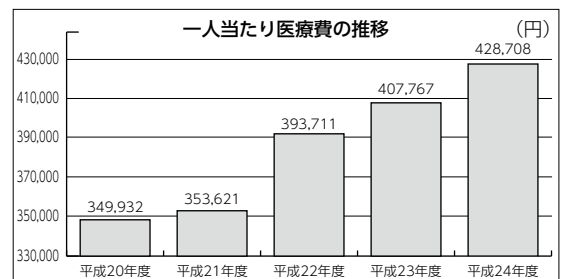
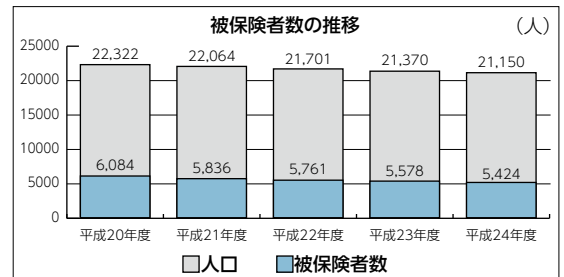
A. 国民健康保険制度（国保）は、病気やけがに備え、加入者のみなさんでお金を出し合い、お医者さんにかかる時の医療費の負担を軽くし、安心して受診できるための助け合いの制度です。

Q. どこで運営しているの？

A. 国保の運営は多久市で行っています。

Q. どうして医療費が増えているの？

A. 高齢化の進展により病院にかかる人が増えています。また、医療の高度化などにより医療費単価が高くなっています。



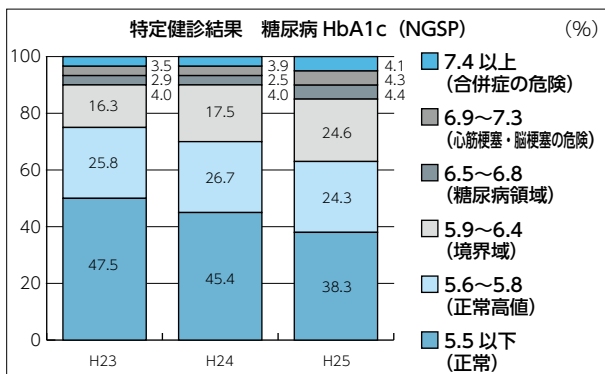
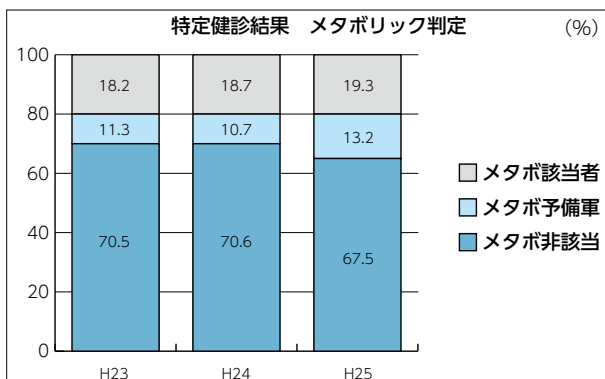
多久市の国保の加入者はどれくらいいるの？

多久市の国保には市民の約4分の1、約5,300人が加入しています。加入者は自営業者をはじめ、退職後の人や離職中の人などです。

国保の医療費

被保険者数が減少しているにもかかわらず、平成24年度の国保被保険者の医療費は約22億円で、前年度に比べ約3,500万円増加しています。一人当たりの医療費は平成24年度428,708円で前年度に比べ20,941円増加しており、県内国保の中では3番目に高い状況となっています。

医療費を減らすためにご協力ください！



◆日常生活を見直しましょう

高血圧症、糖尿病等の生活習慣病の悪化による医療費が増えています。自分の食生活や運動など日頃の生活習慣を見直すことで、病気を予防することができます。

特定健診の結果をみても、肥満による生活習慣病や糖尿病の人が増えています。

◆特定健診を必ず受けましょう

市では6月から特定健診を実施しています。自分の健康状態を把握し、病気の早期発見、早期治療に努め、重症化を防ぎましょう。そうすれば医療費の削減にもつながります。

◆ジェネリック医薬品（後発医薬品）を利用しましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、特許期間の過ぎた新薬（先発医薬品）と同じ有効成分を持った安価な処方薬です。医師・薬剤師へご相談のうえご利用ください。

現在、新薬（先発医薬品）を処方されている国保加入者で、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に1人当たり500円以上の差額がある世帯には「ジェネリック医薬品差額通知」を送付しています。この通知書は薬代がどれくらい軽減できるのかをお知らせするものです。ジェネリック医薬品を強要するものではありません。

■問い合わせ 市民生活課 保険年金係 ☎75-2159